

**蘭桧笠・南木曾ろくろ細工**

長野県木曾谷の南部に位置する木曾郡南木曾町と下伊那郡阿智村を結ぶ国道二五六号線沿いに伝統技術を受け継ぐ里(蘭桧笠・南木曾ろくろ細工)があります。

飛 蘭桧笠は、寛文二年(一六六二年)



伝統技術を継承する桧笠



南木曾ろくろ細工

長野県木曾谷の南部に位置する木曾郡南木曾町と下伊那郡阿智村を結ぶ国道二五六号線沿いに伝統技術を受け継ぐ里(蘭桧笠・南木曾ろくろ細工)があります。

蘭桧笠は、桧の節の少ない上質な部分を薄く削って細長い短冊状にしたもので編まれており、すぐれた伝統技法により、美しい編み目と通風性・防水性を兼ね備え、木曾の自然と素朴な生活風土が巧みに活かされ、昭和五十七年には「長野県伝統工芸品」に指定されました。

また、ろくろ細工は、厚い板や丸太をろくろで回転させながらカンナで挽いて形を削り出す伝統技術です。

南木曾ろくろ細工の起源は明らかではありませんが、宝永元年(一七〇四年)から享保十三年(一七二八年)の間において、木地師が運上金を納め、盆、椀などの木地荷物を名古屋、大阪方面へ出していたことが古文書に記されており、江戸時代中期には白木の挽き物がこの地方

で生産されていたことが窺われます。

南木曾ろくろ細工は、「伝統的工芸品産業振興に関する法律」に基づく、伝統的工芸品の指定要件を満たし、昭和五十五年に国の伝統的工芸品に指定されました。

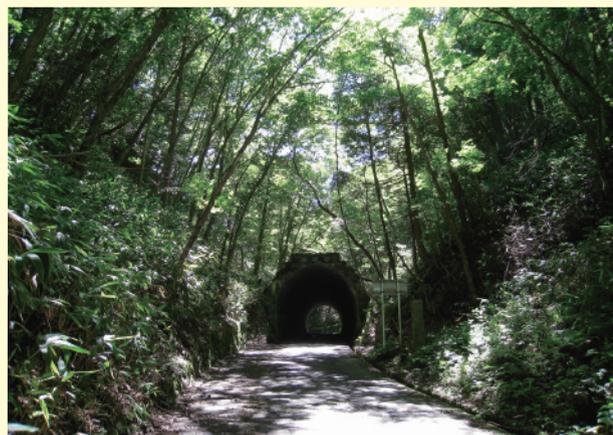
この国道二五六号線沿いは木工業が盛んな地から「工芸街道」とも言われ、南蘭国有林は工芸街道の背景林となっています。

木地師の里から分かれて、飯田市に向かう大平街道には旧東山道の大平宿があり、当時は妻籠宿から飯田方面へ往来が盛んだったことが窺われます。

現在は、主要地方道飯田南木曾線になっており、大平峠周辺の国有林は、自然探勝、憩いの場として、レクリエーションの森(大平峠風致探勝林六〇ヶ)



「木地師の里」と背景の南蘭国有林



南木曾町と飯田市の境となる大平峠

に指定され、多くの人が訪れています。

◆アクセス

(所在地)

長野県木曾郡南木曾町吾妻

○車でお越しの場合

中央自動車道 中津川ICから南木曾町方面へ国道一九号線を北へ三十分〜三十五分

長野自動車道 塩尻ICから南木曾町方面へ国道一九号線を南へ二時間

○公共交通機関をご利用の場合

JR中央西線南木曾駅下車またはタクシーで十五分〜二十分  
 国道一九号線から妻籠宿を経由して五分で「桧笠の家」、十五分程で「木地師の里」に到着です。